行政視察報告書　　広報広聴委員会　　　2017年8月8日(火)

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　11番　石井通春

|  |  |
| --- | --- |
| 視察先 | 群馬県前橋市 |
| 研修テーマ（調査項目） | 広報広聴戦略プラン |
| 1. 取組の内容評価   ・政策部市政発信課を発足、3つの基本戦略、６つの具体的戦略を策定した  　具体的には、市民に理解が得られる広報、前橋の魅力発進、職員1人1人が広報広聴パーソンへ  ・市民目線の広報づくり。このくらいは当然知っているだろうという思い込みは捨てる。文字数を減らす。視覚的要素の取入れ  ・広報媒体の充実。アンケート実施により90%の市民が広報から市政情報を得ているとの事（ネットよりはるかに多い）そうした中、動きのあるものはネットで、保存が必要なものは広報誌でとすみわけを行った  ・ヤフーとの提携で大規模災害時にヤフーが前橋のホームページのキャッシュサイト（市ホームページの一時的複製）を公開する事で、前橋の負担軽減が図られている。災害時には練馬区と相互に被災状況、避難情報をホームページに掲載する協定も締結している。  ・広聴力の強化。市民ニーズや地域の課題を把握するためにツールとしてネット上で市長への手紙を実施   1. 今後の課題   ・議会としてどうかかわっているのか。広報委員会は議運9名と正副議長の構成だが、だよりの発行は議会広報編集委員との事であり、市議会だよりにも行政の取組が反映できる（広報広聴の取組）ようにする事が必要ではないか   1. 本市に反映できると思われる点   ・市長への手紙に対しては、回答を執行部が作成し担当課がA~Cに必要性を評価したのち、市長決裁を経て質問者に回答。そのうち一部を抽出して市長提案という形にして進行実施。イベントチラシの早期配布など実現した事業も数点確認できる（HP上で）※一部、パブコメで行われている事を市長への手紙でも実施してみればどうか  ・上記、ネットと広報との掲載の仕分け   1. その他 | |